

令和5年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名	中標津町商工会経営発達支援事業評価検討委員会
2. 開催日時	令和5年4月20日（木）14時
3. 開催場所	中標津経済センター
4. 出席者	
(1) 外部有識者	中標津町金融協会 西村会長
(2) 商工会	廣木副会長、館下副会長、渡邊委員長、安田副委員長、対木委員、北海道商工会連合会釧根支所 舞草支所長 須郷事務局長、國奥経営指導員、茂又経営指導員、竹下経営指導員

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、渡邊委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画について

事務局は令和3年3月26日に認定を受けた経営発達支援計画の概要等について説明を行った。

(2) 令和4年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

令和4年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した状況は以下のとおり。

I. 経営発達支援事業の内容

3-1 地域経済動向調査に関すること

- 町内小規模事業者の景況調査による情報収集と分析提供

内容：北海道商工会連合会の景況調査を活用し、町内の4企業を対象に景況調査を実施した。景況調査報告書に基づき巡回訪問時に説明。

目標：1回 実績：4回

結果：業種別の景況が把握でき、今後の経営計画策定支援の基礎資料として活用していく

- 小規模事業者への事業承継に関する調査

内容：事業承継診断シートを活用し指導員等の巡回訪問等により事業承継調査を実施した。

目標：100企業 実績：15企業

結果：後継者がいる事業者の割合は約3割であり、そのうち事業承継について後継者と話をしている事業者は7割程度おりましたが、実際に

具体的に準備等については進めていない事業所がほとんどであったことから、今後、承継に向けた支援が必要である。

- ・行政、金融機関の統計資料を活用した経済動向の情報収集

内容：金融機関が発行しているビジネスレポート等を活用し情報収集を行った。

目標：1回 実績：1回

結果：巡回訪問時に業種ごとの経済動向等についての情報提供を行った。

3－2 需要動向調査に関すること

- ・商談会・展示会出展時のアンケート調査による需要調査

内容：商談会の出展時にバイヤー等に対して商品に対するアンケート調査を実施した。

目標：4企業 実績：3企業

結果：アンケート結果をフィードバックすることで今後の商品開発や商品の改良を図るための参考資料として活用された。

4 経営状況の分析に関すること

- ・小規模事業者の経営分析

内容：持続化補助金・事業再構築補助金等の補助金申請時やソリマチ会計の活用等により経営分析を行った。

目標：60件 実績：43件

検証結果：巡回訪問等において問題点等を説明し、事業計画策定に向けた支援を行った。

5 事業計画策定支援に関すること

- ・事業計画策定セミナーの開催

内容：伴走型補助金を活用して専門家（中小企業診断士）によるセミナーを開催した

目標：1回 実績：1回

結果：事業計画策定の必要性について理解いただき3事業者について事業計画策定に向けた支援を行った。

- ・販路開拓のための事業計画の策定支援

内容：事業計画策定セミナーに参加した方や持続化補助金、事業再構築補助金申請時に事業計画策定に取り組んだ。

目標：30件 実績：7件

結果：事業計画を策定したことにより、「コロナ禍の中ではあるが今後の方針性が見えてきた」、「補助金をうまく活用することで今後の事業推進にあたっての目標に向かって取組が行える」等の感想をもらうことができた。

- ・事業承継に向けた事業計画の策定支援

内容：事業承継が必要な事業者に対して事業計画の必要性について促しが策定までには至らなかった。

目標：2件 実績：0件

結果：引き続き事業計画の必要性について説明を行い、策定に向けた支援を行っていく。また、必要に応じて専門家の派遣も実施する。

- ・創業支援・第二創業に関する事業計画策定支援

内容：町の補助金申請時に事業計画策定に取り組んだ。

目標：5件 実績：2件

結果：創業時に事業計画の重要性を認識してもらう事ができ、今後の事業経営戦略が可能となった。

6 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・事業計画支援に係るフォローアップ

内容：計画策定を支援した7事業者に対して、進捗状況等についてフォローアップを行った。

目標：30企業 実績：7企業

結果：定期的な巡回訪問等により進捗状況が把握でき、経営計画に沿った支援が行えた。

- ・事業承継に係るフォローアップ

内容：事業計画策定の必要性について説明を行ったが策定までには至らなかった。

目標：2企業 実績：0企業

結果：事業計画策定までには至らなかったが、事業計画策定の必要性については一定の理解を得られたことから今後も引き続き策定に向けた支援を行っていく

- ・創業・第二創業者支援に係るフォローアップ

内容：計画策定を支援した2事業者に対して、進捗状況等についてフォローアップを行った。

目標：5企業 実績：2企業

結果：創業者が事業を継続するための一助となった。

7 新たな需要の開拓に寄与する事業に関するこ

- ・商談会・展示会への出展支援

内容：北海道商工会連合会で開催した「北の味覚、再発見！！」に出展した2事業所と「なまらいいしょ北海道フェア2022」に出展した2事業者に対して支援を行った。

目標：4企業 実績：3企業

結果：出店時において販路開拓のためのパンフレットを作成し来場者にPRすることができた。また、当日に来場されたバイヤー等にアンケート調査を実施することで商品開発の一助となった。

- ・特産品パンフレットによる販路開拓支援

内容：ふるさと納税返礼品の促進事業として「ふるさと納税返礼品パンフレット」を作成し商談会や展示会にて配布を行い、販路開拓支援を行った。

目標：10企業 実績：31企業

結果：パンフレットの作成により中標津町や事業者のPRを行なうことができた。

- ・インターネット販売の構築による販路開拓支援

内容：町補助金を活用してHPやECサイトの作成による販路開拓支援を行った。

目標：3企業 実績：1企業

結果：HPやECサイトの作成により新たな顧客の獲得が図られた。

- ・ふるさと納税制度を活用した販路開拓支援

内容：経営指導員等の巡回訪問時や特産品開発等支援事業補助金の申請時にふるさと納税の登録について説明を行い返礼品の登録について促進を図った。

目標：2企業 実績：3企業

結果：現在は商品開発中のため商品ができしだい登録に向けた支援を行っていく

9 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・職種別の資質向上

内容：経営指導員・補助員を中小企業大学校旭川校で開催している専門研修へ派遣し資質向上を図った。北海道商工会連合会の経営指導員研修会では経営支援事例を研修することで支援ノウハウを習得することができた。また、別の補助員については、全道商工会職員研修会等を受講した。

結果：支援ノウハウの向上が図れました。

- ・職場内での研修会による資質向上

内容：税務研修会を実施した。

結果：職員の資質向上が図られた。

10 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関するこ

- ・支援機関・金融機関・商工会関連との連携及び情報交換

内容：経営改善貸付推薦団体連絡協議会や経営指導員連絡会議等において情報交換を行った。

結果：各種制度融資を活用するために連携体制の構築が強化され、さらに職員の支援ノウハウの向上が図られた。

11 地域経済の活性化に資する取組

- ・地域ブランド商品開発による地域経済活性化

内容：町の補助金（アフターコロナに向けた特産品開発等支援事業）を活

用し本町の地域資源を活用した新商品開発に向けた取り組みに対し支援を行った

結果：新商品の開発により、新たな販路開拓やふるさと納税返礼品の登録により、町外からの資金獲得による経済活動の活性化が図られた。

- ・まちなか賑わい推進事業による中心市街地の活性化

内容：3年ぶりに「まちなか賑わい秋の陣清流物語 2023」を中心市街地にある中標津経済センター並びに親水広場にて開催した。

結果：中心市街地への誘客により、出店者並びに中心市街地の集客に寄与することができた。

- ・地域雇用の拡大による地域経済活性化

内容：根室管内4町の高校生や一般求職者を対象に合同企業説明会を実施した。

結果：地元企業の事業内容や利点などについて、より具体的な説明を行い就職促進を図り地元企業への理解度を深めることができ地元雇用の拡大を図ることができた。

（3）令和5年度事業計画について

事務局より、令和5年度の経営発達支援計画について報告を行い、今年度についても伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して事業の実施を計画していることの報告を行った。

（4）事業の評価・見直し結果の内容について

渡邊委員長より、事業の評価等について意見を求めたところ、舞草支所長より、実績値が低いところあるが中標津町商工会においては専門家派遣等も多くやっており、カウントのひろい方について見直しをすることで実績値があがるのでもう少し広く拾う形でやった方がよいのではとの意見があり、次年度以降についてはカウントの仕方について検討を行なうこととした。

その他の意見等なく、最後に渡邊委員長より、商談会等の出展支援により販路開拓や売上の増加に繋がる取組がなされており一定の成果があったものと感じています。令和5年度についても事業を継続し、小規模事業者に寄り添った伴走型の支援を行っていただきたいとの意見が述べられた。

その他特になく、安田副委員長より挨拶がなされ、15時に評価委員会を閉会した。